

都市空間におけるアメニティ評価の分析（1）

○東洋大学工学部 学生会員 齋藤伊久太郎
東洋大学工学部 正会員 小瀬博之
郡リース株式会社 坪田雅安

1. はじめに

近年、住宅団地の周辺において、住民によってアメニティをもとめる傾向にある。アメニティは一般に「あるべきものがしかるべきところにある」と定義され、これからの市民主体の質が重視されるまちづくりにおいて必要な概念であると考えられる。しかし、アメニティは定義づけるより認識する方がたやすいと、これまでいわれてきており、その具体的な要素やそれらの持つ構造は明らかにされていない。そこで本研究では、板橋区にある住宅団地から半径 2km 圏を対象にアメニティと考えられるもの、ディスアメニティと考えられるものを写真により抽出し、これを評価させることで、アメニティの要素を明らかにする。

2. 写真選定の概要

本研究ではまず、進士五十八氏の環境計画の五条件、安全性・利便性（Physical）、景観性・美観性（Visual）、自然性・環境性（Ecological）、社会性・地域性（Social）、精神性（Mental）を網羅するものをアメニティ、その逆をディスアメニティとした。これを踏まえた上で、都市の外部空間を構成する要素として、建築物、道路、緑や水辺などの自然、商店街、水景施設・公園、その他（街灯、オブジェ、道路標識など）の 6 つのカテゴリーを設定し、これを網羅するべく 200 枚を撮影した。撮影範囲は、板橋区にある住宅団地を中心に半径 2km 圏とした。撮影された写真を予備実験において、それぞれのカテゴリーが均等の枚数になるように 100 枚を選出した。この写真をもとに評価実験をおこなった。

3. 評価実験の概要

土木系学科の学生 44 人に対し、写真評価実験をおこなった（図 1）。100 枚の写真を「アメニティを強く感じる」「アメニティをやや感じる」「どちらでもない」「ディスアメニティをやや感じる」「ディスアメニティを強く感じる」の 5 つに分類させた。分類された写真のうち、「アメニティを強く感じる」「ディスアメニティを強く感じる」のそれぞれの群において、安全性、利便性、景観性、自然性、社会性、精神性の 5 つの中

で最も強く関係していると考えられる要素に分類させた。分類された 12 群の写真のうち、さらにその要素として最も強く考えられる写真を抽出した。抽出された 12 枚の写真について、アメニティあるいはディスアメニティとして選択した理由、その改善点、生活圏にあるとしたときの許容の距離、他の要素についての評価（7段階）について質問した。またこの実験の際、被験者の現在住んでいる環境についての設問を設けた。

4. アメニティ、ディスアメニティの要因

得られたデータから最もアメニティとして評価された写真、ディスアメニティとして評価された写真を図 2、図 3 に示す。要素としては景観性、自然性を強く

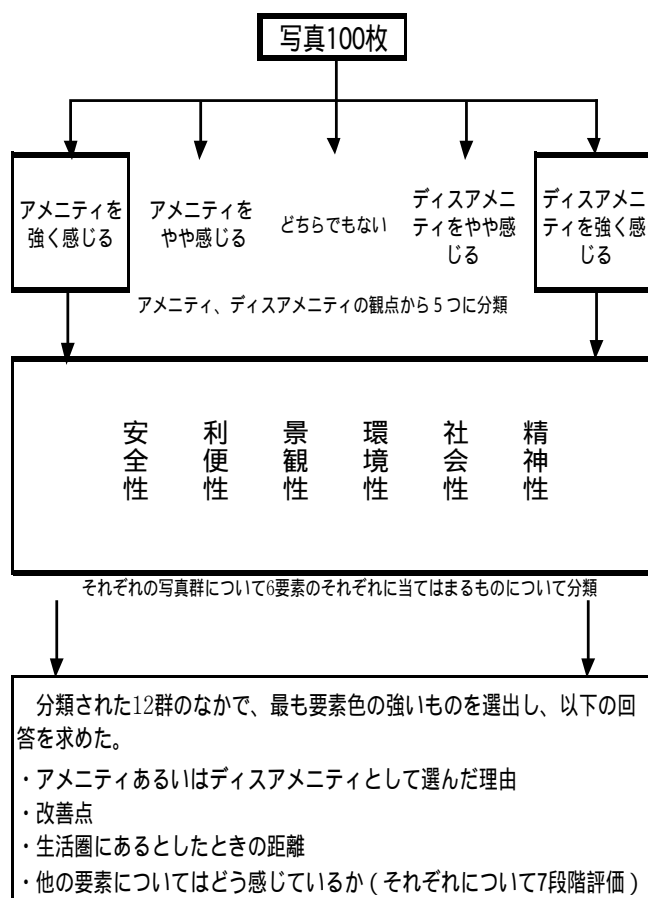


図 1. 実験の概要

感じる被験者が図2で多く、安全性について強く感じる被験者が図3で多い結果となった。すなわち、景観性、自然性の高いものについてアメニティとし、安全性の低いものについてディスアメニティとされる傾向があることが分かった。他方、アメニティとしてとらえられた写真についてそれぞれの要素別に傾向を調べると、安全性については図4の写真が、利便性について図5の写真が高い傾向を示した。また、ディスアメニティでは、景観性、社会性について図6の写真が、利便性、自然性、精神性については図7～図9の写真が高い傾向を示した。

5. 多次元尺度法による被験者の分類

アメニティ、ディスアメニティを分類した5段階評価について、あるいは個人属性についてそれぞれの非類似度データを用いて被験者を分類し、二次元の散布図にまとめた（図10、11）。個人属性の散布図についてプロット別に3つの群でまとめ、これを5段階評価の散布図に適用させると、ここでも群ができていたことが分かった。すなわち、個人属性が評価の分類に何かしらの影響をもたらしているということがわかった。

6. まとめ

本報では、景観に対するアメニティ、ディスアメニティがどのような観点で評価されているかを把握することができた。また、それらの評価は多次元尺度法による分析の結果個人属性の影響が考えられることが分かった。これからの課題としては、評価の要因を個人属性のアプローチから把握していくことが必要であると考え。さらに、アメニティとされるもの、ディスアメニティとされるものに対する距離感と評価の要因についても把握する必要があると考える。

参考文献

進士五十八：アメニティ・デザイン、学芸出版社、1999年



図2. 最もアメニティとして捉えられた写真



図3. 最もディスアメニティとして捉えられた写真



図4. アメニティ群の中で安全性の強い写真



図5. アメニティ群の中で利便性の強い写真



図6. ディスアメニティ群の中で景観性、社会性の強い写真



図7. ディスアメニティ群の中で利便性の強い写真



図8. ディスアメニティ群の中で自然性の強い写真



図9. ディスアメニティ群の中で精神性の強い写真

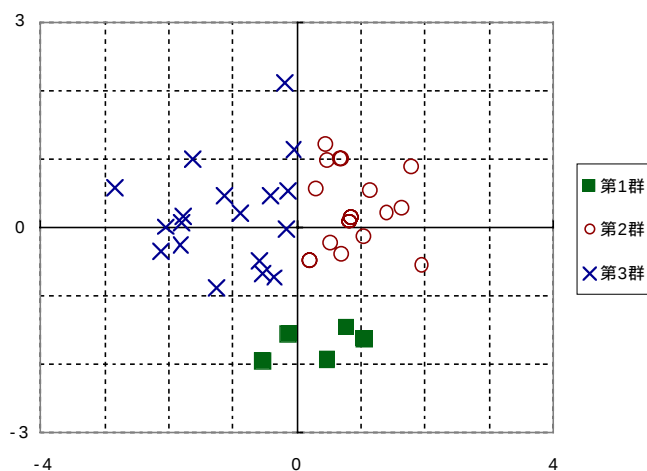


図10. 個人属性による分類

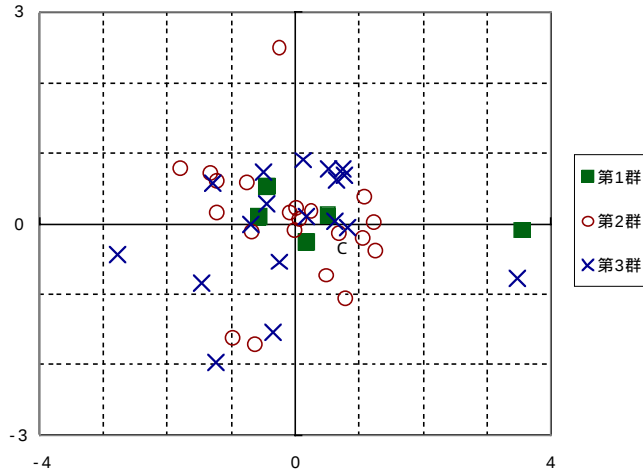


図11. 5段階評価による分類

図10、図11の群または散布図中のそれにまつわる記号は統一させた。